

## 選定理由【国語】

国語においては、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書出版の4者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校国語」の目標である「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、自分の考えを伝えることの大切さと、国語力が全教科の基本であり、将来社会に出たときに役立つことを理解している生徒が多いことや素直で純朴な生徒が多く、学び合いや話合いに一生懸命取り組む傾向が強いという面がある。

しかし、筆者の主張や登場人物の心情を読み取ることや、長文の要旨を的確にとらえることについて苦手意識をもつ生徒が多く、自分の考えを表現することや、話合いの中で考えを広げたり深めたりすることに課題が見られるとの報告が専門委員よりあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から協議した結果、話合いを深めることが難しいという課題について「聞き方の工夫」を提示し、「話す・聞く」の学習内容を段階的に示すことで、対話を充実させ、思考を深めようとする態度を育成できるような工夫が、光村図書出版の教科用図書には多く見られたため、本地区採択協議会においては、光村図書出版の教科用図書が適切であると選定した。

なお、光村図書出版の教科用図書の特徴は次のような点である。

(1) 単元の配列については、教材につながりをもたせ、資質・能力を活用して学びを深めたり、異なる領域で同じ話題を扱い、考えを深めたりする工夫が見られる。また、教材の後に設定した「学びのカギ」を手掛かりに、「学びへの扉」に沿って学習することで、学習内容の理解と定着を促す工夫が見られる。

(2) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、教材の学習の流れが段階的に示された「学びへの扉」や学習のポイントがまとめられた「学びのカギ」が設けられ、生徒が見通しをもち、自らの学びを確認しながら学習に臨める工夫が見られる。

地域の実態から、話合いを深めることが難しいという課題について「聞き方の工夫」を提示し、「話す・聞く」の学習内容を段階的に示すことで、対話を充実させ、思考を深めようとする態度を育成できるような工夫が見られる。

(3) 学習効果や使用上の利便性については、「ICT活用のヒント」において、各領域でのICTの活用場面や参考となる資料を示し、効果的にICTを活用することができる工夫が見られる。

## 選定理由【書写】

書写においては、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書出版の4者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校国語」の書写の内容の取扱いに示してある「文字を正しく整えて速く書くことができるようにするとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てるよう配慮すること」や、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、授業では、「とめ」「はね」「はらい」等の筆使いの技能の向上や、文字のバランス（字形）を意識して書くことについて、進んで何度も練習に取り組む姿が見られる。

しかし、普段の学習や生活においては、学んだ知識や技能を活かしていない生徒が見られるとの報告が専門委員よりあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から協議した結果、学んだ知識や技能を生かすことについて、「日常に役立つ書式」を設定することで、積極的に書写の力を生かそうとする態度を育成できるような工夫が、光村図書出版の教科用図書には多く見られたため、本地区採択協議会においては、光村図書出版の教科用図書が適切であると選定した。

なお、光村図書出版の教科用図書の特徴は次のような点である。

(1) 単元の構成に関しては、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の3段階の学習過程となっており、「学びのカギ」において学習のポイントを具体的な説明やイラスト等で視覚的に示し、学習内容を確かめながら学習できる工夫が見られる。

(2) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、各毛筆教材の「考えよう」において自分で課題を発見させたり、「コラム」において、文字に関する様々な問いを投げかけ、話し合う活動を設定したりする工夫が見られる。

地域の実態から、学んだ知識や技能を生かすことについて、「日常に役立つ書式」を設定することで、積極的に書写の力を生かそうとする態度を育成できるような工夫が見られる。

(3) 生徒にとっての分かりやすさについては、行書の特徴をアイコンで示すことでどの題材でもポイントを明確にしたり、筆使いを擬態語を使って表現したりして、筆の動きをイメージしやすくする工夫が見られる。

## 選定理由【社会（地理的分野）】

社会（地理的分野）においては、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版の4者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校社会」の〔地理的分野〕の目標である「社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、地理的分野の授業に、一生懸命に取り組む姿が見られることや、視覚的な教材や動画などを用いると、興味・関心が高まる生徒が多い面が見られる。

しかし、上位層と下位層の差が大きく、学習への取組や定着に差が見られることや、地理的諸事情を多面的・多角的に考えることが苦手である傾向も見られるとの報告が専門委員からあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から協議した結果、学習への取組や定着に差があることについて、「確かめよう」や「探究課題に答えよう」に取り組むことで、知識的な内容を問う問題から思考力・判断力・表現力を問う問題に取り組むことができ、個々の能力に対応する工夫が東京書籍の教科用図書には多く見られたため、本地区採択協議会においては、東京書籍の教科用図書が適切であると選定した。

なお、東京書籍の教科用図書の特徴は次のような点である。

- (1) 社会科地理的分野の目標を達成するために、章の構成は、課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという流れで構造化され、単元を貫く探究課題を解決していく学習活動ができるような工夫が見られる。
- (2) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、単元の終わりに「探究課題を解決しよう」が設定しており、地域のこれからを思考・判断・表現し課題を解決する力を高めるような工夫が見られる。

地域の実態から、学習への取組や定着に差があることについて、「確かめよう」や「探究課題に答えよう」に取り組むことで、知識的な内容を問う問題から思考力・判断力・表現力を問う問題に取り組むことができ、個々の能力に対応する工夫が見られる。

- (3) 生徒にとっての分かりやすさについては、導入で印象的な写真を掲載し、興味・関心を高めさせたり、章や節ごとに単元を貫く問いについて独立したページを設けて、学習内容の見通しをもたせたりする工夫が見られる。

## 選定理由【社会（歴史的分野）】

社会（歴史的分野）においては、東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版社、日本文教出版、自由社、令和書籍の7者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校社会」の〔歴史的分野〕の目標である「社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、歴史的な人物や主な出来事に関して興味・関心をもったり各時代の大まかな特色を理解したりする生徒が多く、視覚的な教材を用いると、意欲的に学習に取り組む生徒が多いという面がある。

しかし、歴史的事象間の因果関係を、諸資料を基に考察することが苦手な生徒や、各時代の大まかな特色は理解しているが、共通点や相違点を説明することが苦手な生徒が多いという傾向も見られる。

本地区の生徒の課題を解決する観点から協議した結果、各時代の共通点や相違点に着目して説明することを苦手としていることについて、時代の特色の捉え方を比較・相互の関連・現在とのつながりの3つを示すことで視点が絞られ、資料を根拠として、説明する力を育成できるような工夫が、東京書籍の教科用図書には多く見られたため、本地区採択協議会においては、東京書籍の教科用図書が適切であると選定した。

なお、東京書籍の教科用図書の特徴は次のような点である。

(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章・節の構成は、課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという流れで構成されており、学習の流れを可視化し、課題を解決する力を育てることができるような工夫が見られる。

(2) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、学習内容を「ウェビング」などの「思考ツール」を活用して整理したり、グループ学習「みんなでチャレンジ」コーナーを設けたりするなどの工夫が見られる。

地域の実態から、各時代の共通点や相違点に着目して説明することを苦手としていることについて、時代の特色の捉え方を比較・相互の関連・現在とのつながりの3つを示すことで視点が絞られ、資料を根拠として、説明する力を育成できるような工夫が見られる。

(3) 生徒にとっての分かりやすさについては、各ページ下「チェック&トライ」で1時間の学習をふり返った後、数ページ先の「探究のステップ」のページを示すなどして、各章や節のまとめと、そのまとめを基にした探究課題の解決が効率的に行える工夫が見られる。

## 選定理由【社会（公民的分野）】

社会（公民的分野）においては、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版、自由社の5者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校社会」の〔公民的分野〕の目標である「現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、自分たちが住む地域社会の様子について関心が高く、主体的・対話的な学習を通して、課題解決に取り組むことができ、示された学習課題の解決に向けて、丁寧に取り組むことができる面である。

しかし、新たに獲得した知識・技能をもとに、社会的な見方・考え方を深めることや、社会的な課題に気づき、多様な概念を関連付けて考察・構想する力が不十分な傾向も見られるとの報告が専門委員からあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から協議した結果、社会的な課題に気づき、多様な概念を関連付けて考察・構想する力について、様々な思考ツールを用いて自分の考えをまとめるページや「探究課題を解決しよう」などのページの設定によって、社会的な課題について多面的・多角的に考察する力を育成することができるような工夫が、東京書籍の教科用図書には多く見られたため、本地区採択協議会においては、東京書籍の教科用図書が適切であると選定した。

なお、東京書籍の教科用図書の特徴は次のような点である。

- (1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという流れで構成されており、単元を貫く探究課題を解決していく学習活動ができるような工夫が見られる。
- (2) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、持続可能な社会の実現に向けた課題を意識する巻頭ページや社会に参画する態度を養う「18歳へのステップ」を設けるなどの工夫が見られる。

地域の実態から、社会的な課題に気づき、多様な概念を関連付けて考察・構想する力について、様々な思考ツールを用いて自分の考えをまとめるページや「探究課題を解決しよう」などのページの設定によって、社会的な課題について多面的・多角的に考察する力を育成することができるような工夫が見られる。

- (3) 生徒にとっての分かりやすさについては、導入からまとめまでの学習の流れが分かりやすくデザインされており、学習のまとめでは思考ツールを使って自分の思考を整理し、課題解決につなげる工夫が見られる。

## 選定理由【地図】

地図においては、東京書籍と帝国書院の2者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校社会」の目標である「社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、イラストや写真などの視覚的な情報に対して、興味・関心が高く、地図を活用した課題に対して、他の人と協働して解決しようとする姿勢が見られる。

しかし、実際の生活で地図を使って調べる経験が少なく、与えられた課題に取り組むことはできるが、地図を使って課題を解決する力や理解した知識を表現することを苦手とする傾向も見られるとの報告が専門委員よりあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から協議した結果、実際の生活で地図を使って調べる経験が少ないことについて、二次元コード「地図で発見！」を活用することで、誌面情報だけではなく、クイズにも取り組み、興味関心を持ちながら、情報分析力を育成できるような工夫が、帝国書院の教科用図書には多く見られたため、本地区採択協議会においては、帝国書院の教科用図書が適切であると選定した。

なお、帝国書院の教科用図書の特徴は次のような点である。

- (1) 社会科の目標を達成するために、巻頭では凡例、地図記号や方位、巻末では地形図について解説されており、地図帳の基本的な見方や使い方が示されている。
- (2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、世界の各州・日本の各地方の主題図をほぼ同縮尺で提示したり、日本の各地方のページに産業の特徴を捉える統計資料を配置したりするなどの工夫が見られる。

地域の実態から、実際の生活で地図を使って調べる経験が少ないことについて、二次元コード「地図で発見！」を活用することで、誌面情報だけではなく、クイズにも取り組み、興味関心を持ちながら、情報分析力を育成できるような工夫が見られる。

- (3) 生徒にとっての分かりやすさについては、世界の各州に、自然環境や生活・文化・産業などをイラストで表記した鳥瞰図を掲載することで、関心を高めながら特色がより視覚的に読み取れるなどの工夫が見られる。

## 選定理由【数学】

数学においては、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、新興出版社啓林館、教研出版、日本文芸出版の7者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校数学」の目標である「数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、授業にまじめに取り組む生徒やタブレット端末を文房具として活用できる生徒が多く、ICTを活用した授業にも慣れていたり、与えられた課題に対して工夫して取り組んだりする面がある。

しかし、与えられた課題には取り組むが主体性に欠けており、計算問題等を正確に速く解く力や自分の考えを正しく相手に伝える表現力が身に付いていない生徒が多い傾向も見られるとの報告が専門委員よりあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から協議した結果、主体的に学習に取り組むことができるように、二次元コードを使って実際に操作活動を行ったり、関連する資料を閲覧したりすることで、活動の場面の理解が深まるような工夫が、新興出版社啓林館の教科用図書には多く見られたため、本地区採択協議会においては、新興出版社啓林館の教科用図書が適切であると選定した。

なお、新興出版社啓林館の教科用図書の特徴は次のような点である。

- (1) 数学科の目標を達成するために、基本・応用問題に加え、学習したことを自分の言葉でまとめる振り返りの場面を設定することで、学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。また、節の始めの「学習のとびら」では、数学を学ぶ意義と有用性を実感し、話し合い活動を通して解決の見通しをもつことができるようにするなどの構成・配列の工夫が見られる。
- (2) 数学的な見方・考え方を働かせるために、2つの標識「学びをひろげるときに役立つ考え方」「解決するときの考え方」を示すことで、大切な考え方を自然に体得させ、単元末では、わかったことなどをまとめる場面を設定するなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。

地域の実態から、主体的に学習に取り組むことができるように、二次元コードを使って実際に操作活動を行ったり、関連する資料を閲覧したりすることで、活動の場面の理解が深まる工夫が見られる。

- (3) 学習効果や使用上の利便性を図るため、単元内にある節の学習を進めれば解決できる身のまわりの問題を、すべての節の先頭に「学習のとびら」として設定するとともに、場面理解や話し合い活動、試行錯誤する活動をサポートするコンテンツなどを用意し、学習内容の理解を促すような工夫が見られる。

## 選定理由【理科】

理科においては、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、新興出版社啓林館の5者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校理科」の目標である「自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、班やチームでの実験や観察など、協働的な活動に意欲的に取り組む傾向があり、実験・観察において、タブレットPCをはじめICT機器を活用する場面に興味・関心を示す生徒が多い面がある。

しかし、豊かな自然環境に恵まれた中で生活しているが、自然について興味・関心をもつ生徒が少なかったり、自ら疑問や課題をもち、主体的に探究していこうとする意欲が低く、受け身的であったり、実験・結果等を基に分析・解釈して、考察したことを自分の言葉を使って表現する力が十分とは言えない傾向が見られるとの報告が専門委員よりあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から協議した結果、自ら疑問や課題をもち、主体的に探究することについて、視覚的にわかりやすい二次元コード等で図や動画を用いて情報を提示することで、ICT機器を効果的に活用し、意欲を高めながら、自ら進んで課題を解決しようとする態度を高めるような工夫が、新興出版社啓林館の教科用図書には多く見られたため、本地区採択協議会においては、新興出版社啓林館の教科用図書が適切であると選定した。

なお、新興出版社啓林館の教科用図書の特徴は次のような点である。

(1) 理科の目標を達成するために、単元の導入では「学ぶ前にトライ！」で身のまわりの疑問について考えさせることで、生徒に学習の見通しをもたせるようにしている。また、課題の把握から解決までの探究の流れの各段階が、1つの流れとして視覚的に分かるように示されており、生徒が探究の過程を意識して取り組めるような構成・配列等の工夫が見られる。

(2) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、各単元に1つ「探Q実験」を設定し、「探Qシート」により生徒の主体的な学習を支援している。また、「Action活用してみよう」など、発表や活動の場面を設定することで学びを深めるような工夫が見られる。

地域の実態から、自ら疑問や課題をもち、主体的に探究することについて、視覚的にわかりやすい二次元コード等で図や動画を用いて情報を提示することで、ICT機器を効果的に活用し、意欲を高めながら、自ら進んで課題を解決しようとする態度を高める工夫が見られる。

(3) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、ICTをどの場面でどのように使うのかを明記している。また、章ごとの「Review」の中で、学びの過程の振り返りを意識できるような工夫が見られる。

## 選定理由【音楽（一般）】

音楽（一般）においては、教育出版と教育芸術社の2者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校音楽」の目標である「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを旨とする」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、音楽に対する興味・関心が高く、音楽科の授業において、歌ったり、音楽をつくったり、聴いたりすることに対し意欲的に取り組むことや、音楽大会への参加等、校内・校外における発表の機会を楽しみにしている生徒が多く、歌唱や演奏における技能について、さらに上手になりたいという向上心が見られる面がある。

しかし、小学校からの系統的・段階的な知識・技能を十分身に付けることができていない生徒が見られるとともに、音楽に対する知識や技能に関する能力差が大きく、特に表現力を問う場面では、恥ずかしさから消極的な態度になる傾向も見られるとの報告が専門委員からあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から協議した結果、知識や技能に関する能力差が大きい傾向にあることについて、巻末ページに、中学校で新しく学習する用語や記号を示した「楽典」や、鑑賞曲で演奏されている「楽器」をまとめて記載することで、既習事項の復習や確認が効果的にできるような工夫が、教育出版の教科用図書には多く見られたため、本地区採択協議会においては、教育出版の教科用図書が適切であると選定した。

なお、教育出版の教科用図書の特徴は次のような点である。

- (1) 表現及び鑑賞の幅広い活動を実現させるために、教材と選択可能なオプション教材・資料を組み合わせる工夫がされている。歌唱、鑑賞、創作の分野が関連付けて構成されており、学習内容や教材が一目で分かるように「学習MAP」として示す工夫が見られる。
- (2) 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、全学年の鑑賞領域に、「話し合おう」のコーナーが設けられ、自分の考えをまとめて意見が交流できるようになっており、対話を通して学びが深められるように工夫されている。

地域の実態から、知識や技能に関する能力差が大きい傾向にあることについて、巻末ページに、中学校で新しく学習する用語や記号を示した「楽典」や、鑑賞曲で演奏されている「楽器」をまとめて記載することで、既習事項の復習や確認が効果的にできるような工夫が見られる。

- (3) 生徒の学習への興味・関心を高めるために、巻頭ページでは音楽界の第一線で活躍している方からの音楽に対する思いや中学生へのメッセージが掲載されている。また、学習内容を視覚的に示すために、折り込みを使ったワイドな写真の掲載やイラスト、色分けなどの工夫が見られる。

## 選定理由【音楽（器楽）】

音楽（器楽）においては、教育出版と教育芸術社の2者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校音楽」の目標である「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを旨とする」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、器楽演奏に対する興味・関心が高く、音楽科の授業において、意欲的に取り組み、リコーダーや篠笛、箏などの楽器の演奏を楽しみにしている生徒が多く、さらに上手になりたいと意欲をもって学習に取り組む面がある。

しかし、小学校からの系統的・段階的な知識・技能を身に付けることができていない生徒が見られ、器楽演奏に対して、知識や技能に関する能力差が大きい傾向も見られるとの報告が専門委員からあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から協議した結果、器楽演奏に対する知識や技能に関する能力差について、拡大された写真やイラストで、構え方や奏法の手順を確認することにより、知識や技能を習得できるような工夫が、教育出版の教科用図書には多く見られたため、本採択地区協議会においては、教育出版の教科用図書が適切であると選定した。

なお、教育出版の教科用図書の特徴は次のような点である。

- (1) 音楽文化と豊かに関わり、音楽を愛好する心情を育むために、仲間と一緒に演奏する楽しさや喜びを味わえるよう、それぞれの楽器の特徴を生かしたアンサンブル曲の充実が見られる。
- (2) 生きて働く「知識・技能」の習得のために、学習に役立つ演奏や動画を視聴できる二次元コードや、焦点化した写真を示すといった工夫が見られる。また「Let's Play!」「Let's Try!」の中から、学校や生徒の実態に応じて楽曲を選択できるようになっており、習得した知識・技能を活用することができるように工夫されている。

地域の実態から、器楽演奏に対する知識や技能に関する能力差について、拡大された写真やイラストで、構え方や奏法の手順を確認することにより、知識や技能を習得できるような工夫が見られる。

- (3) 個別最適な学びを可能にするために、教材に関連した学習に役立つ動画や音源を二次元コードの読み取りで視聴できるように工夫されていたり、既習事項を振り返ることができるページを示したりといった工夫が見られる。

## 選定理由【美術】

美術においては、開隆堂出版、光村図書出版、日本文教出版の3者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校美術」の目標である「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、創作活動に興味・関心が高い生徒が多く、意欲的に絵を描いたり、ものづくりをしたりすることができ、作品の構想についてはインターネットを活用して収集することができる。また、美術作品及び生徒が制作した作品などについて、雰囲気、印象などを素直に感じ取り、作品の良いところを肯定的に伝え合う生徒が多く、オリジナル作品を制作することに喜びを感じ、作業に集中して取り組む傾向が見られる。

しかし、新しい技法を用いたり、複数の技術を組み合わせたりするなど、応用的な表現については消極的である。また、鑑賞の際、色合いや明暗などの表面的な部分にしか気付かず、作品の背景やその表現技法を行った意図などを感じ取ることには個人差が見られ、発想豊かに構想したり、表現方法を創意工夫したりする生徒は少ない傾向も見られるとの報告が専門委員からあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から協議した結果、新しい技法を用いたり、複数の技術を組み合わせたりすることについて、様々な画材の使い方や技法について巻末に詳しく紹介することで、様々な表現活動への意欲を高める工夫が、日本文教出版の教科用図書には多く見られたため、本採択地区協議会においては、日本文教出版の教科用図書が適切であると選定した。

なお、日本文教出版の教科用図書の特徴は次のような点である。

- (1) 美術科の目標を達成するために、表紙や巻頭の見開きページの作品から題材につなげていくことで学びのつながりを意識させるとともに、各学年の発達の特性に即した題材の構成・配列の工夫が見られる。
- (2) 思考をより造形的に捉えるため、完成された作品や写真、アイデアスケッチなどを用い、発想・構想が、鑑賞と表現の双方向から取り組める工夫がなされている。また、作者の言葉を掲載し、より発想・構想を広げ深め、「思考力、判断力、表現力等」を育成できるような工夫が見られる。  
地域の実態から、新しい技法を用いたり、複数の技術を組み合わせたりすることについて、様々な画材の使い方や技法について巻末に詳しく紹介することで、様々な表現活動への意欲を高める工夫が見られる。
- (3) 各題材ページでは、表現と鑑賞の一体化を意識した構成になっており、導入段階で活動や目的をイメージさせるような題材名や各題材の導入につながる2次元コード、鑑賞の見方や考え方に気づかせるような問いかけが示され、表現段階で表現のヒントや造形的な視点としての問いかけが示されるなど、授業の流れを考えやすく、生徒に考えさせる工夫で多様な展開も期待でき、学習効果や使用上の利便性を高める工夫が見られる。

## 選定理由【保健体育】

保健体育においては、東京書籍、大日本図書、大修館書店、Gakkenの4者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校保健体育」の目標である「体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、基礎的・基本的な知識や技能の習得に意欲的に取り組むとともに、与えられた課題に対し、仲間と協力して学習に取り組んだり、ICT機器を活用した学習に進んで取り組んだりすることができる。

しかし、生徒が自らの課題を見つけ、主体的に課題の解決に取り組むことや、習得した知識や技能を実生活の中で生かすことに課題が見られるとの報告が専門委員からあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から協議した結果、自己の課題を主体的に解決し実生活に生かすことについて、「日常生活に生かそう」を設定し、日常を振り返り調べたいことを書かせることで、自己の課題解決に取り組み、実生活で活用できるような工夫が、東京書籍の教科用図書には多く見られたため、本採択地区協議会においては、東京書籍の教科用図書が適切であると選定した。

なお、東京書籍の教科用図書の特徴は次のような点である。

- (1) 単元の配列に関しては、1単位時間の流れとして「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」の4段階での学習過程とされており、生徒が見通しをもって学習を進められ、さらに「巻末スキルブック」を設け、実生活で活用できるような工夫が見られる。
- (2) 内容の面では、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、小単元ごとに「活用する」「広げる」を設定し、学習を通して習得した知識・技能を活用し、再考するなどの実践力を育む工夫が見られる。

地域の実態から、自己の課題を主体的に解決し実生活に生かすことについて、「日常生活に生かそう」を設定し、日常を振り返り調べたいことを書かせることで、自己の課題解決に取り組み、実生活で活用できるような工夫が見られる。
- (3) 学習効果や使用上の利便性については、1単位時間の内容を見開き2ページに収め、各ページ左側本文、右側資料となっており、本文の内容に関する資料をすぐに確認できるなど、視線に配慮し、知識を確認するための資料の活用がしやすい工夫が見られる。

## 選定理由【技術・家庭（技術分野）】

技術・家庭（技術分野）においては、東京書籍、教育図書、開隆堂出版の3者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校技術」の目標である「技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することを目指す」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、全体的にもものづくりやICT機器を活用した学習への興味・関心は高い。

しかし、実習や演習に対する興味・関心は高いが、学習した内容が実生活に繋がらない生徒が多い傾向も見られるとの報告が専門委員からあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から協議した結果、学習した内容が実生活につながらないことについて、「Interview」のページにおいて、持続可能な社会の構築につながるようなインタビュー記事が掲載されており、実生活でも活かすことができるような工夫が、開隆堂出版の教科用図書には多く見られたため、本地区採択協議会においては、開隆堂出版の教科用図書が適切であると選定した。

なお、開隆堂出版の教科用図書の特徴は次のような点である。

- (1) 技術科の目標を達成するために、生活や社会の中にある技術に気付かせながら基礎・基本を習得させ、「問題解決→実習例→学習のまとめ」という一連の流れの中で学習を進めることができるようにし、技術の見方・考え方を身近な製品の特徴から気付かせるなどの工夫が見られる。
- (2) 「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、最初に「問題解決の流れ」で4段階の問題解決学習の流れを説明し、製作の例を数多く提示してある。また、「やってみよう」の発問で協働学習をしやすくする工夫が見られる。

地域の実態から、学習した内容が実生活につながらないことについて、「Interview」のページにおいて、持続可能な社会の構築につながるようなインタビュー記事が掲載されており、実生活でも活かすことができるような工夫が見られる。

- (3) 学習効果や使用上の利便性及び生徒の興味・関心を高めるために、製作等の手順に沿って分かりやすく作業を進めることができるように二次元コードから動画や資料などのデジタルコンテンツを活用できるようにするなどの工夫が見られる。

## 選定理由【技術・家庭（家庭分野）】

技術・家庭（家庭分野）においては、東京書籍、教育図書、開隆堂出版の3者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校家庭」の目標である「生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、家庭科の学習への興味・関心が高く、教師からの問いかけに対してもよく自分の考えを話し、友だちの意見にもよく耳を傾けようとしており、裁縫や調理などの実習に、意欲的かつ積極的に取り組む生徒が多い面である。

しかし、小学校での学習を含む既習学習の定着が十分ではなく、知識及び技能を習得していても実生活に活用する力が身に付いていないことや、日常生活で家族・家庭、地域とふれ合う機会が少ないため、自分を取り巻く生活や社会の問題を、自分事として捉えることが難しい傾向も見られるとの報告が専門委員からあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から協議した結果、自分を取り巻く生活や社会の問題を、自分事として捉えることについて、自分自身に対する問いかけから始まり、図や表を用いて深く考えたり、話し合ったりする場が設定されており、自分事として捉えることができる工夫が、開隆堂出版の教科用図書には多く見られたため、本地区採択協議会においては、開隆堂出版の教科用図書が適切であると選定した。

なお、開隆堂の教科用図書の特徴は次のような点である。

- (1) 構成・配列については、導入から振り返りまで中学生が体験しがちなエピソードや、学習者の思考を揺さぶる問いを随所に盛り込むことで、より自分事として問題を見つけたり、解決に努めたりして、よりよい生活の実現に向けて、自ら考え判断していく力を身に付けることができるような工夫が見られる。
- (2) 生活の自立に必要な「知識及び技能」を習得させるために、内容を厳選して的確に記述し、調理実習では「調理方法 Q&A」を取り上げ、科学的根拠に基づいた理解を深めることができるように工夫されている。また、「生活の課題と実践」を巻末に項目を立て、習得した知識及び技能を実生活で活用しながら定着を図ることができるような工夫が見られる。  
地域の実態から、自分を取り巻く生活や社会の問題を、自分事として捉えることについて、自分自身に対する問いかけから始まり、図や表を用いて深く考えたり、話し合ったりする場が設定されており、自分事として捉えることができるような工夫が見られる。
- (3) 学習効果や使用上の利便性については、技能面の写真が詳細で分かりやすく表現され、細部については拡大写真やイラストを添えたり、目には見えない栄養素なども科学的に可視化したりすることによって、見方・考え方を広げながら理解が深まるような工夫が見られる。また、学習内容に QR マークを付けることで豊富なコンテンツから、取捨選択して主体的に活用できるような工夫が見られる。

## 選定理由【英語】

英語においては、東京書籍、開隆堂出版、三省堂、教育出版、光村図書出版、新興出版社啓林館の6者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校外国語」の目標である「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、「話すこと」への意識や意欲が高く、素直に学習に取り組む生徒が多く、教え合い活動等ができるということである。

しかし、英文や図表から読み取った情報をもとに、英語で自分の考え・気持ちを正確に表現するような技能を統合的に活用することや、主体的に学ぼうとする姿勢と家庭学習の充実に課題が見られるとの報告が専門委員からあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から協議した結果、読み取った情報をもとに表現するような技能を統合的に活用することについて、「Retell」で本文の要点を確認することで読み取る力を育成し、本文の最終セクションの「Think」で自分の考え・気持ちを表現する力を育成できるような工夫が、開隆堂出版の教科用図書には多く見られたため、本地区採択協議会においては、開隆堂出版の教科用図書が適切であると選定した。

なお、開隆堂出版の教科用図書の特徴は次のような点である。

- (1) 単元の構成・配列等に関しては、各 Program を「とびら」「Scenes」「Tuning in」「Part」「Review & Retell」「Action」で構成し、新出表現を繰り返し取り扱うことで確実な基礎・基本の定着が期待される。特に、「Scenes」では、マンガ形式や朱書きで新出表現が導入されており、巻末の CAN-DO リストが「とびら」に示されている表現とリンクしていることで、自身が1年間を通して身に付けた表現がわかるという工夫が見られる。
- (2) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、Scenes と本文の場面設定が統一され、かつ同じ言語材料を扱うことで使用場面が明確になっている。また、各 Program における様々な言語活動で活用した表現を「Our Project」で統合的・発展的に活用する工夫が見られる。

地域の実態から、読み取った情報をもとに表現するような技能を統合的に活用することについて、「Retell」で本文の要点を確認することで読み取る力を育成し、本文の最終セクションの「Think」で自分の考え・気持ちを表現する力を育成できるような工夫が見られる。
- (3) 学習効果や使用上の利便性については、「Scenes for Basic Dialogs」で、導入→理解→自己表現の流れが同じアイコンで示され、学習が進めやすくなっている。また、各学年の「Our Project」の目標が示されているので、1年間の学習の見通しをもち、3年間の到達目標がわかる工夫が見られる。

## 選定理由【道徳】

道徳においては、東京書籍、教育出版、光村図書出版、日本文教出版、Gakken、あかつき教育図書、日本教科書の7者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校特別の教科 道徳」の目標である「道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、思いやりや感謝の気持ちがあり、素朴で素直な生徒が多く、困っている人がいるときに進んで助けたり、人の役に立つ行動をとったりすることができる生徒が多い面である。

しかし、生徒自らが考え、理解し、主体的に取り組むことが苦手であり、望ましい行動をとるための情報モラル等の規範意識をより高める必要があるとの報告が専門委員からあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から協議した結果、規範意識をより高めることについて、情報モラル教材や「視野を広げて」を設け、社会的な課題に対応する力や学んだ道徳的価値に照らして、自らの生活や考えを見つめる力を育成できるような工夫が、日本文教出版の教科用図書には多く見られたため、本地区採択協議会においては、日本文教出版の教科用図書が適切であると選定した。

なお、日本文教出版の教科用図書の特徴は次のような点である。

- (1) 道徳科の目標を達成するために、ユニット化した「よりよい社会を考える」などに加えて、現代的・社会的課題に対応したテーマとコラムを設定することで、一人一人を尊重し、多様性を認め合えるような構成・配列の工夫が見られる。
- (2) 多面的・多角的な考え方ができるように、「学びを深めよう」では問題解決的な学習や体験的な学習の流れと資料を提示し、生徒が話し合い活動や役割演技を通して道徳的価値にせまるような工夫が見られる。

地域の実態から、規範意識をより高めることについて、情報モラル教材や「視野を広げて」を設け、社会的な課題に対応する力や学んだ道徳的価値に照らして、自らの生活や考えを見つめる力を育成できるような工夫が見られる。

- (3) 学習効果や使用上の利便性については、巻頭に「道徳科での学びを始めよう！」や「ミニ教材で考えてみよう」を設けることで、学びの見通しがもてるような工夫がなされている。また、別冊「道徳ノート」を併用することで、生徒自身の考えを記録し積み上げ、納得解を見つけることで成長を実感できるような工夫が見られる。